

第3・4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時：平成23年9月16日 5校時 14:00～

場 所：五日市小学校 3・4年教室

児 童：第3学年5名 第4学年7名 計12名

授業者：増田 誠

1 単元名 「郷土のよさ再発見！ 大豆を育てよう」（3・4学年）

2 単元目標

大豆の栽培・収穫活動、伝統食作りを通して、地域の人々の思いや自然との関わりを考え、自分にできることを実践することができる。

3 高めたい力

教科特性に 関して	<p>【学習方法に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大豆や地域の方の思いを調べたり、地域に伝わる伝統食を調べたりしたことを分かりやすく整理してまとめ、発表する力。 <p>【自分自身に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培に関わる地域の方々の思いを受け止め、自分にできることを実践する力。 <p>【他者や社会とのかかわりに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と協力して栽培活動や調理を行い、地域の人々の思いや郷土のよさを理解し、自分たちが郷土のためにできることを考える力。
言語活動に 関して	<p>【話す言語活動について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことを自分の言葉でまとめ、他の児童に伝える力。 <p>【聞く言語活動について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞き手としては、話の中心をとらえ、話し手が伝えたいことを理解する力。 <p>【書く言語活動について】</p> <ul style="list-style-type: none"> インタビューしたことや調べたことを分かりやすくまとめる力。

4 単元の指導について

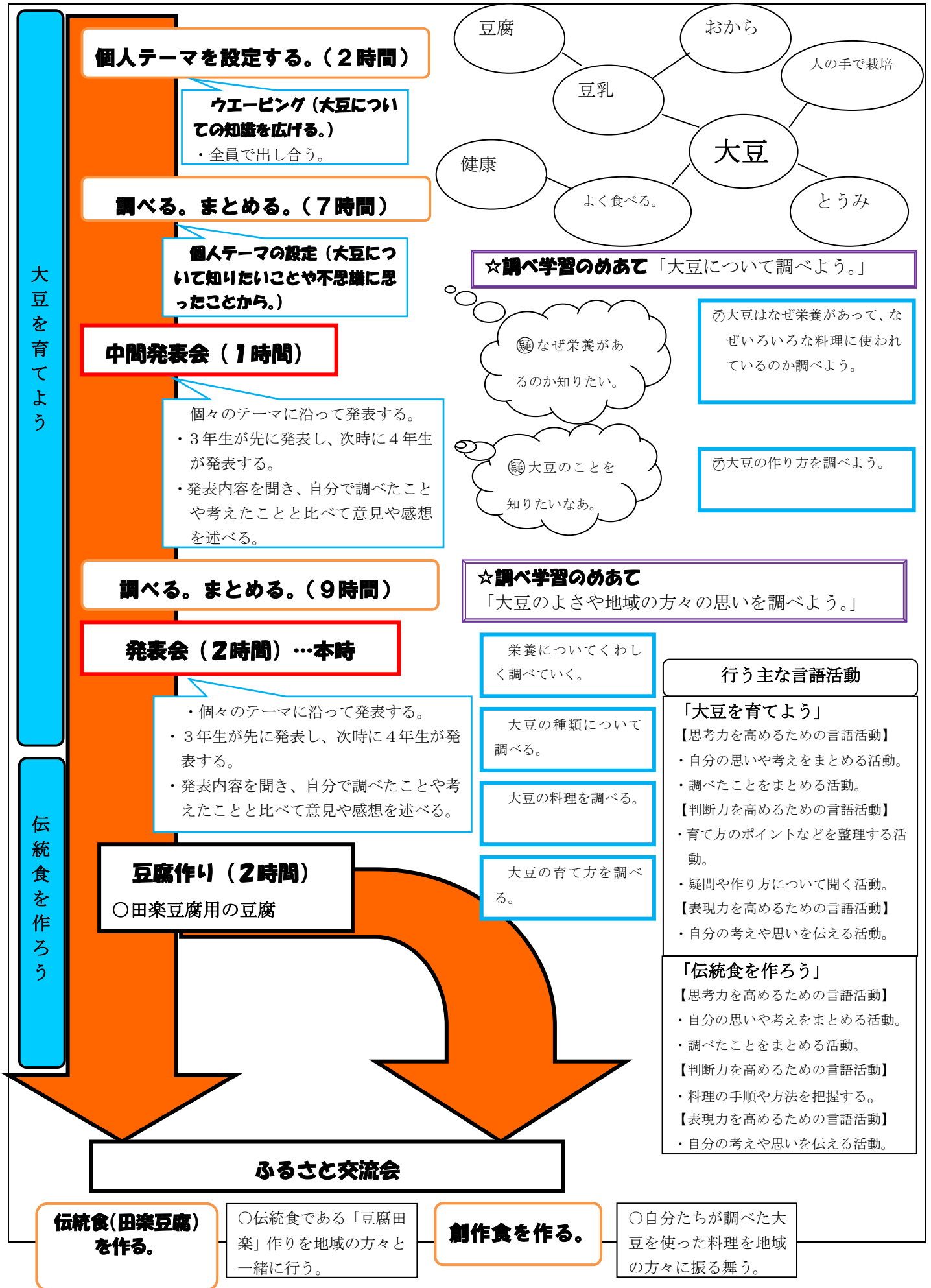
教材に ついて	大豆は、学区内多くの家庭において栽培されている穀物であり、豆腐や味噌などとして日常的に食されているものである。大豆を扱うことは、地域の伝統や先人の知恵を学ぶことでもある。地域の一員であることを自覚することにもつながる。
児童に ついて	<p>児童は、毎年、「ふるさと交流会」（学校行事）に向けて栽培活動に取り組んでいる。3年生にとって大豆の栽培は初めての経験である。4年生は昨年度も大豆の栽培を行ったが、地域でなぜ大豆を栽培してきたのか、伝統食として受け継がれてきたのはなぜかなど、地域の人々の思いに深く関わることはなかったため、この活動を通して学ばせたいという思いから、本単元を設定した。</p> <p>これまでの学級での学び合いでは、個々の思いや考えを十分に伝え合うことができず、深まりをもたせることができなかった。そこで、本単元を通して学び合いを深めていきたい。</p>
指導に ついて	中間発表会を経て、さらに自分のテーマに沿って詳しく調べまとめたことをしっかり伝え合うことができるように、調べ方やまとめ方について個にあった支援をする。また、4年生は昨年の経験を生かし、昨年度との比較をしたり、発想を広げたりできるように支援する。

5 授業改善に関わって

(1) めあてとふりかえりの持たせ方の工夫 毎時間の活動で、記録カードにめあてやふり返りを記入することで、課題意識をもたせ、次の活動への意欲化を図る。
(2) 高めようとする言語力が明らかな授業の工夫 体験や活動の中で分かったことや感じたことを児童自身の言葉で表現できるように、整理して記録させる。調べたり、聞いたりしたことを正確に伝えることができるように簡潔にまとめさせる。
(3) 理由や根拠が明らかにした発言が展開される工夫

誰（何）から得た情報なのかを記録カードに記入させる。「なぜなら、・・・」など理由をつけて発言できるように指導する。聞き手は、発表のどこから伝えたいことが分かったのかを言えるようにする。

6 単元構想表



7 本時の指導

(1) 目標

大豆について調べたことを分かりやすく伝え合い、お互いの考えを深めることができる。

(2) 研究をとおして高めようとする力

【話す言語活動について】

- ・調べたことを自分の言葉でまとめ、他の児童に伝える力。

【聞く言語活動について】

- ・聞き手としては、話の中心をとらえ、話し手が伝えたいことを理解する力。

(3) 展開

段階	学習内容・活動	支援
導入 2分	1 前時を想起する。 2 学習のめあての確認を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 調べたことを分かりやすく伝え合い、考えを深めよう。 </div> 3 学習の見通しをもつ。 ※進行は、教師が行う。	○聞き手が、話し手の思いや考えを受け止めることができるように視点を確認する。
展開 38分	4 発表・交流をする。 ①参観者と交流する。 ・全員が発表する。 (参観者の方に声をかける。自分が何を調べ、どんなことを学んだのかを伝える。) ・3年生は前時の発表・交流を受けて、 ・参観者から感想をいただく。 ②発表・交流 ・4年生一人一人が発表する。 (参観者からの助言や質問を参考にし、修正して発表する。) ・聞き手は、発表内容に関わり、発表者の思考を深められる質問をする。 ・聞き手は、話し手の発表から学んだことや自分が調べたことと比べて意見を述べる。	○一人一人が自分のまとめた掲示資料の前に参観者を連れて行き、発表できるように事前に準備する。 3年生・・・ワークスペース 4年生・・・教室 ○参観者の方々からいただいた感想を交流させ、次の4年生の発表につなげる。 ○質問の際は、内容についての質問を出し調べたことをさらに深められるように支援する。 ○個々の発表に対してよさや学んだことを伝え合うように、教師が助言を行う。
終末 5分	5 本時の学習をふり返る。 ・発表会での交流をふり返り、学習の感想をふり返りシートにまとめる。 ・感想を発表し、交流する。 6 次時の学習を知る。 ・ふるさと交流会に向けて「豆腐作り」を行う。	○全体を通して、学んだことや考えたことを記入させる。 ○感想発表を行い、学んだことや友達の発表のよさを交流させる。 ○豆腐作りについても講師の方に質問しながら体験活動することを確認する。 ○昨年経験した4年生の感想を聞かせ、次時の活動に意欲をもたせる。

(4) 個への指導

児童	3年生				
	AM女	DW男	OK女	EH女	SA女

児童の実態	自分の考えを進んで話す。	理由をはっきり述べることができる。	積極的に自分の考えを述べる。	理由をはっきり述べることができる。	友達の発言をまねて話すことがある。
大豆の知識	みそ、豆腐などに使われる大事な食べ物。	他の豆に比べて出来るまでの間が長い。	色々な物が作れる。畑の肉。保存がきく。	みそ、豆腐、しょうゆが作れる。枝豆から作られる？	三つきり(?) 入れて大豆を蒔くことが分かった。
個人テーマ	栄養について詳しく調べていく	栄養の比較(大豆と他の作物)	作物の育ち方(栽培の秘訣、育ち具合の違いなど)	料理について詳しく調べる。	料理をさらに調べる。
手立て	根拠を明確にするように助言する。	発表内容と自分の考えを比べて質問や意見を述べさせる。	発表内容と自分の考えを比べて質問や意見を述べさせる。	発表内容と自分の考えを比べて質問や意見を述べさせる。	自分の考えをまとめてから言うように助言する。

児童	4年生						
	KH女	TY男	MA女	NM女	YK男	TY男	KT男
児童の実態	話の中心をとらえて聞き、自分の考えを述べる。	自分の思いを積極的に伝えることは苦手。	自分の思いや考えを積極的に伝えることができる。	話の中心をとられることが苦手である。	自分の思いを述べるが、根拠が弱いときがある。	大雑把な言い方で説明することがある。	声が小さいが、伝えようという思いはある。
大豆の知識	ほとんど手作業でやる。大豆をたたく物がある。殻を分ける器械がある。	枝豆からできる。色々な料理がある。栄養がある。色々なところで作られている。	畑の肉といわれるほど栄養がある。豆腐、みそに使われる。種を二・三個入れる。	豆が畑にうえている。大豆が増えている。	二・三個ずつ植える。豆腐になる。植えるとき、かっちャびの間隔をあける。	育っていけば柔らかくなる。大豆の芽が枯れて大豆が落ちる。	豆腐、みそになる。丸い。
個人テーマ	油揚げの作り方を実際に目で見て確かめる。	「畑の王様」と呼ばれるほどの栄養について他の作物と比較して調べる。	栄養価について他の作物と比較して詳しく調べる。	料理についてさらに詳しく調べる。	大豆の種類を調べる。	大豆を使った加工食品を調べる。	栽培の秘訣。栽培している方の思い。
手立て	発表内容と自分の考えを比べて質問や意見を述べさせる。	根拠を明確にすることで自信をもたせる。	発表内容と自分の考えを比べて質問や意見を述べさせる。	自分の考えをまとめてから言うように助言する。	発表内容と自分の考えを比べて質問や意見を述べさせる。	根拠を明確にするように助言する。	話し手に適切な助言ができるようにメモを意識させる。